

6 施設・都市機能について

(1) 施設や都市機能整備のありかた

問 11 施設（公共施設、病院、福祉施設など）や都市機能のありかた（配置や場所）についてお尋ねします。今後、インフラや公共施設などの維持更新コストの増大が見込まれますが、施設・都市機能はどのように整備すべきだと思いますか。次の中から1つに○を付けてください。

■ “中心部に集約” が 49.5% と約半数を占める。

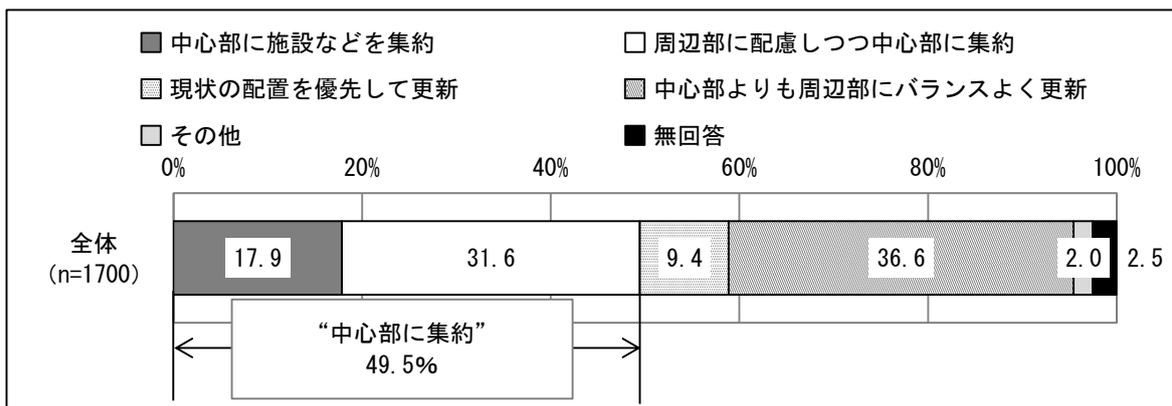
施設や都市機能整備のありかたについては、「中心部に施設などを集約」（17.9%）と「周辺部に配慮しつつ中心部に集約」（31.6%）を合わせた“中心部に集約”と回答した人が 49.5% とほぼ半数を占め、「中心部よりも周辺部にバランスよく更新」が 36.6%、「現状の配置を優先して更新」が 9.4% となっている。

性別でみると、“中心部に集約” が男女ともに約半数を占める。

年齢別でみると、すべての層で“中心部に集約” が半数前後を占める。

居住地区別でみると、忍、行田、佐間、持田、長野、太井では“中心部に集約” が半数を超え、特に佐間では 60.9% を占める。一方、須加、埼玉、南河原では「中心部よりも周辺部にバランスよく更新」が半数を超える。

施設や都市機能整備のありかた（全体）



施設や都市機能整備のありかた（全体、性別、年齢、居住地区）

（単位：％）

	n	“中心部に集約”		現状の配置を優先して更新	中心部よりも周辺部にバランスよく更新	その他	無回答	
		中心部に施設などを集約	周辺部に配慮しつつ中心部に集約					
全体	1700	49.5		9.4	36.6	2.0	2.5	
		17.9	31.6					
性別	男性	791	50.9		8.3	36.4	3.0	1.3
			17.8	33.1				
	女性	892	50.9		10.3	37.0	1.1	3.3
			17.7	30.6				
年齢	20～29 歳	130	47.7		11.5	35.4	3.8	1.5
			11.5	36.2				
	30～39 歳	188	49.5		8.0	39.9	1.1	1.6
			18.6	30.9				
	40～49 歳	276	50.7		10.1	33.3	4.0	1.8
		18.8	31.9					
	50～59 歳	322	50.6		10.2	35.7	1.2	2.2
			16.1	34.5				
	60 歳以上	774	48.8		8.8	37.7	1.6	3.1
			19.1	29.7				
居住地区	忍	128	59.4		10.9	23.4	3.9	2.3
			25.8	33.6				
	行田	104	56.7		7.7	30.8	2.9	1.9
			29.8	26.9				
	佐間	120	60.9		10.0	24.2	1.7	3.3
			21.7	39.2				
	持田	271	53.9		11.4	32.1	1.8	0.7
			21.8	32.1				
	星河	164	44.5		13.4	40.9	0.6	0.6
			13.4	31.1				
	長野	199	53.8		9.5	33.2	1.0	2.5
			20.1	33.7				
	星宮	43	46.5		4.7	39.5	4.7	4.7
			16.3	30.2				
	下忍	35	45.7		17.1	34.3	2.9	0.0
			17.1	28.6				
	荒木	73	45.2		5.5	42.5	0.0	6.8
			11.0	34.2				
	須加	42	40.5		4.8	50.0	0.0	4.8
		11.9	28.6					
北河原	26	38.5		11.5	46.2	0.0	3.8	
		7.7	30.8					
埼玉	100	33.0		6.0	53.0	5.0	3.0	
		7.0	26.0					
太田	139	43.1		6.5	42.4	2.9	5.0	
		12.9	30.2					
太井	163	50.9		8.0	38.7	0.6	1.8	
		19.0	31.9					
南河原	63	31.8		9.5	52.4	3.2	3.2	
		1.6	30.2					

(2) 市の環境

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。
(1) 行田市の環境についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

▼
■ “よい” と回答した割合は『⑤歴史や文化との調和』『①緑の整備状況』で多く、一方“悪い”は『③池や川の水のきれいさ』『⑦道のきれいさ』が多い。

市の環境について、8つの項目を設定して尋ねたところ、“よい”（「よいと感じる」及び「どちらかといえばよいと感じる」の合計）が最も多い項目は『⑤歴史や文化との調和』（40.9%）となっており、次いで『①緑の整備状況』（38.2%）が続く。一方、“悪い”（「どちらかといえば悪いと感じる」及び「悪いと感じる」の合計）は『③池や川の水のきれいさ』（28.8%）で最も多く、次いで『⑦道のきれいさ』（23.1%）が続く。

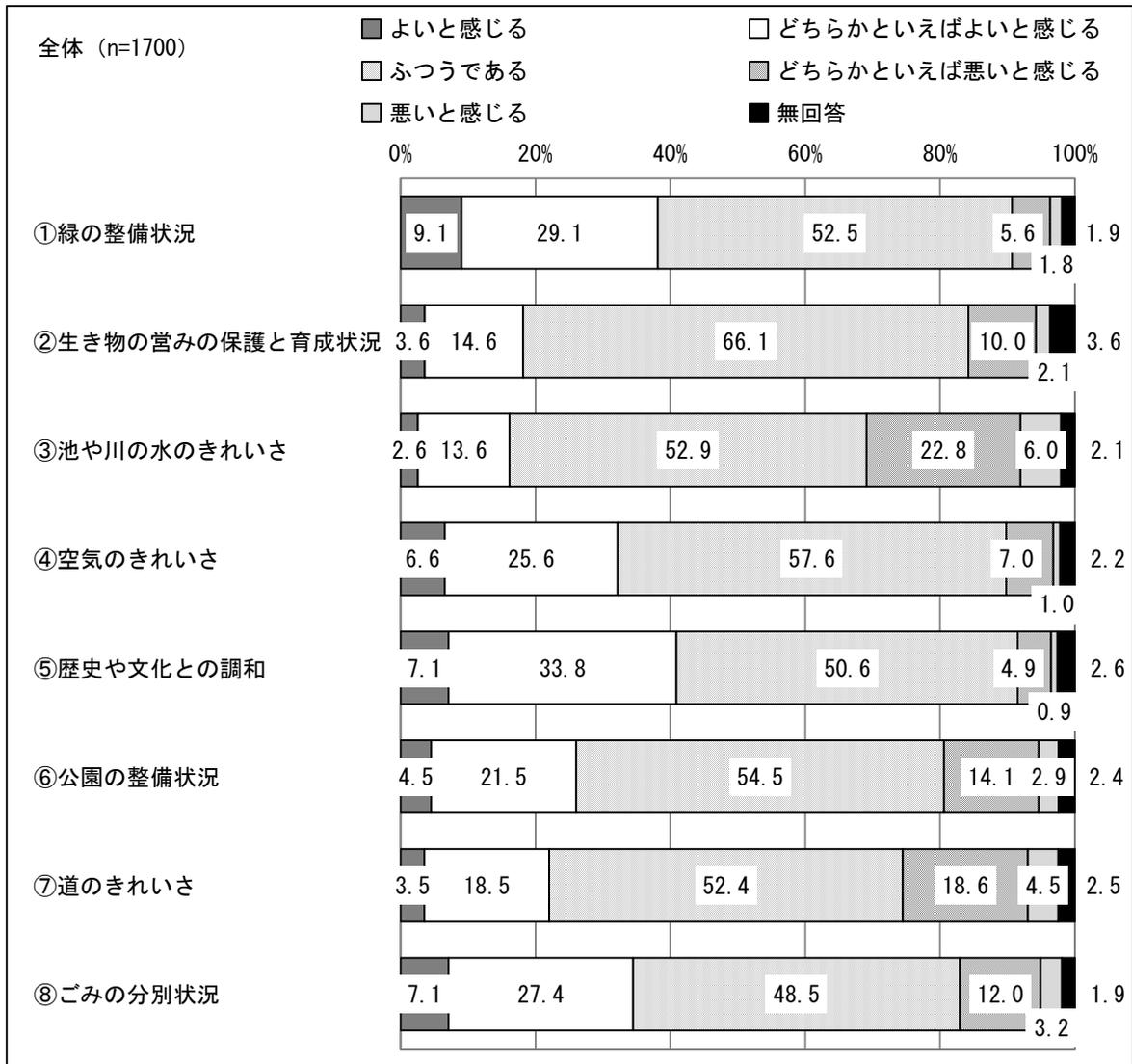
各項目で“悪い”と回答した割合をみると、性別では、男女ともに『③池や川の水のきれいさ』が最も多い。

年齢別で“悪い”と回答した割合をみると、すべての層で『③池や川の水のきれいさ』が最も多く、特に20～29歳では39.2%が“悪い”と感じている。

居住年数別で“悪い”と回答した割合をみると、10年以上15年未満では『③池や川の水のきれいさ』及び『⑦道のきれいさ』、それ以外の層では『③池や川の水のきれいさ』がそれぞれ最も多くなっている。また、10年未満の層では『⑥公園の整備状況』について“悪い”と回答する割合が比較的多い。

居住地区別で“悪い”と回答した割合をみると、ほとんどの地区で『③池や川の水のきれいさ』が最も多くなっているが、南河原では『③池や川の水のきれいさ』及び『⑧ごみの分別状況』、荒木、須加では『⑦道のきれいさ』、太井では『⑧ごみの分別状況』がそれぞれ最も多くなっている。

市の環境（全体）



市の環境について“悪い”と回答する割合（全体、性別、年齢、居住年数、居住地区）

（単位：％）

		n	① 緑の整備状況	② 生き物の営みの保護と育成状況	③ 池や川の水のきれいさ	④ 空気のきれいさ	⑤ 歴史や文化との調和	⑥ 公園の整備状況	⑦ 道のきれいさ	⑧ ごみの分別状況
全体		1700	7.4	12.1	28.8	8.0	5.8	17.0	23.1	15.2
性別	男性	791	6.8	13.0	30.3	8.3	5.2	18.0	24.1	13.8
	女性	892	7.8	11.2	27.4	7.5	6.4	16.3	22.0	16.4
年齢	20～29 歳	130	11.5	16.2	39.2	13.1	6.9	20.0	27.7	16.9
	30～39 歳	188	8.0	10.6	30.3	10.6	6.9	22.9	22.9	18.1
	40～49 歳	276	8.7	12.3	26.1	14.1	6.2	18.8	23.9	17.4
	50～59 歳	322	9.0	13.7	27.6	8.4	7.8	18.3	24.5	16.1
	60 歳以上	774	5.3	11.0	28.2	4.1	4.4	13.8	21.4	13.0
居住年数	5年未満	123	13.8	17.1	39.0	13.0	5.7	27.6	25.2	17.1
	5年以上 10 年未満	101	4.0	7.9	23.8	12.9	5.0	21.8	20.8	15.8
	10 年以上 15 年未満	101	7.9	9.9	25.7	11.9	6.9	16.8	25.7	21.8
	15 年以上 20 年未満	129	5.4	20.2	31.0	10.9	4.7	19.4	25.6	17.1
	20 年以上	1236	7.1	11.2	28.2	6.5	5.9	15.3	22.5	14.2
居住地区	忍	128	7.0	13.3	34.4	10.2	8.6	16.4	22.7	14.1
	行田	104	7.7	15.4	27.9	5.8	11.5	19.2	19.2	11.5
	佐間	120	6.7	15.8	27.5	5.0	5.0	15.0	19.2	9.2
	持田	271	10.0	12.2	31.7	8.5	5.2	18.5	23.6	14.0
	星河	164	7.3	9.8	30.5	5.5	3.7	18.3	23.8	11.6
	長野	199	6.0	14.6	31.7	9.0	4.5	17.6	24.1	13.6
	星宮	43	7.0	16.3	37.2	9.3	4.7	16.3	34.9	23.3
	下忍	35	0.0	11.4	28.6	8.6	2.9	22.9	25.7	2.9
	荒木	73	6.8	8.2	24.7	8.2	11.0	21.9	31.5	30.1
	須加	42	11.9	7.1	16.7	9.5	2.4	9.5	33.3	7.1
	北河原	26	7.7	7.7	30.8	11.5	0.0	11.5	23.1	11.5
	埼玉	100	6.0	16.0	39.0	12.0	8.0	18.0	29.0	21.0
	太田	139	7.9	9.4	23.0	7.9	3.6	14.4	21.6	15.8
	太井	163	5.5	6.7	17.2	7.4	5.5	9.2	14.7	17.8
南河原	63	7.9	15.9	25.4	3.2	4.8	23.8	19.0	25.4	

(3) 環境保全・改善のために強化すべき活動

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。
 (2) 市の環境を保全・改善するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の
 中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

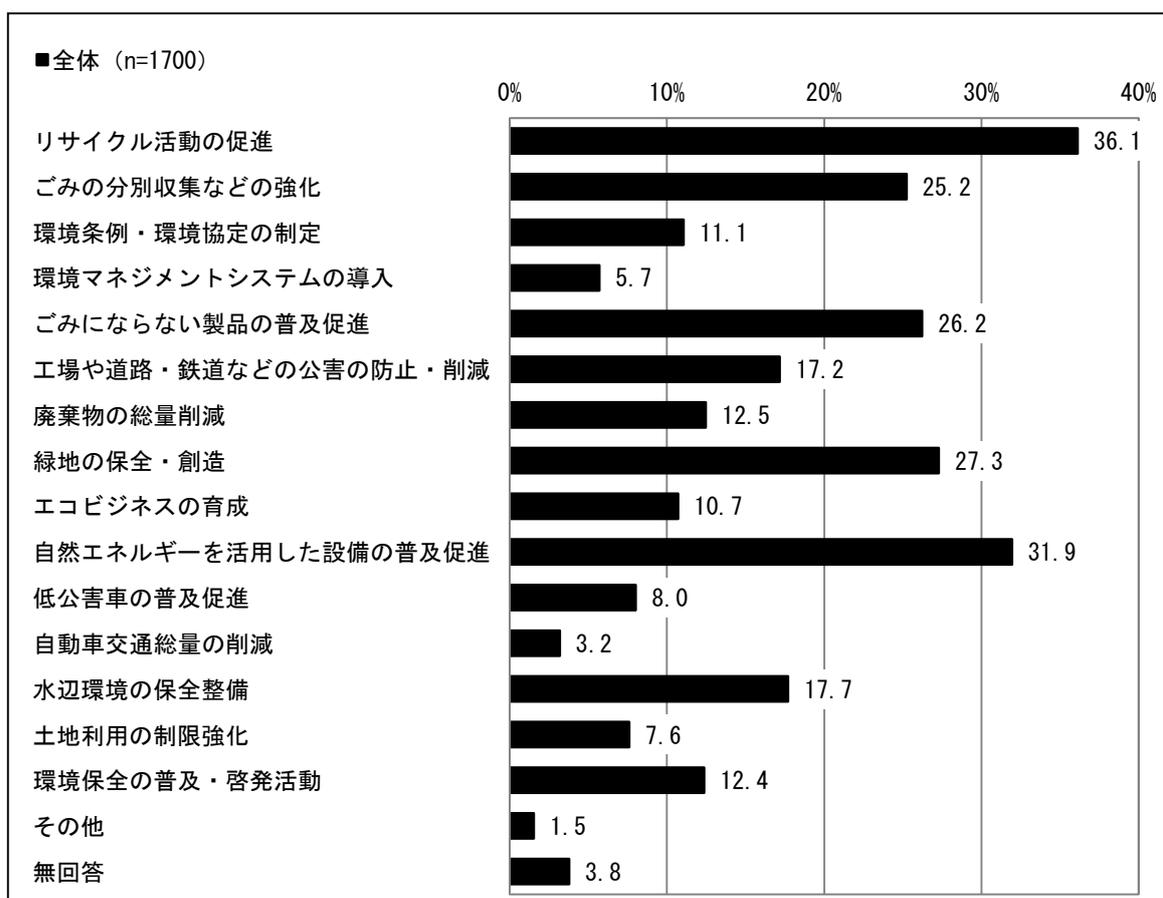
■「リサイクル活動の促進」が第1位。次いで「自然エネルギーを活用した設備の普及促進」が続く。

環境保全・改善のために強化すべき活動は、「リサイクル活動の促進」(36.1%)が第1位に挙げられ、次いで「自然エネルギーを活用した設備の普及促進」(31.9%)、「緑地の保全・創造」(27.3%)、「ごみにならない製品の普及促進」(26.2%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「リサイクル活動の促進」が第1位に挙げられている。

年齢別でみると、50歳未満の層では「自然エネルギーを活用した設備の普及促進」、50歳以上の層では「リサイクル活動の促進」が第1位となっている。

環境保全・改善のために強化すべき活動（全体／複数回答）



環境保全・改善のために強化すべき活動（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	リサイクル活動の促進	ごみの分別収集などの強化	環境条例・環境協定の制定	環境マネジメントシステムの導入	ごみにならない製品の普及促進	工場や道路・鉄道などの公害の防止・削減	廃棄物の総量削減	緑地の保全・創造	エコビジネスの育成
全体		1700	36.1	25.2	11.1	5.7	26.2	17.2	12.5	27.3	10.7
性別	男性	791	34.8	25.7	11.6	9.0	23.6	18.7	12.0	27.8	10.9
	女性	892	37.4	24.4	10.4	2.8	28.7	15.7	13.0	26.8	10.7
年齢	20～29 歳	130	33.1	30.8	6.9	7.7	23.1	15.4	19.2	20.0	12.3
	30～39 歳	188	34.6	22.9	9.6	5.9	23.4	25.5	12.8	30.3	12.2
	40～49 歳	276	35.1	26.4	10.9	5.4	23.9	18.1	6.2	25.4	11.6
	50～59 歳	322	39.8	23.6	13.7	4.7	27.6	14.6	9.9	26.1	14.0
	60 歳以上	774	36.0	25.1	11.2	5.7	27.9	16.0	14.6	28.9	8.4

		n	自然エネルギーを活用した設備の普及促進	低公害車の普及促進	自動車交通総量の削減	水辺環境の保全整備	土地利用の制限強化	環境保全の普及・啓発活動	その他	無回答
全体		1700	31.9	8.0	3.2	17.7	7.6	12.4	1.5	3.8
性別	男性	791	32.6	8.1	3.9	19.6	8.6	12.5	1.6	2.7
	女性	892	31.8	7.8	2.6	16.1	6.8	12.2	1.3	4.5
年齢	20～29 歳	130	34.6	9.2	2.3	13.8	4.6	10.8	3.1	0.8
	30～39 歳	188	35.6	10.6	4.3	15.4	5.3	5.9	0.0	2.7
	40～49 歳	276	37.7	9.8	4.0	17.4	7.2	7.6	2.2	1.8
	50～59 歳	322	29.5	8.7	2.8	18.6	9.3	15.8	1.2	2.8
	60 歳以上	774	29.7	6.1	3.0	18.7	8.0	14.5	1.4	5.6

(4) 市のごみ収集体制

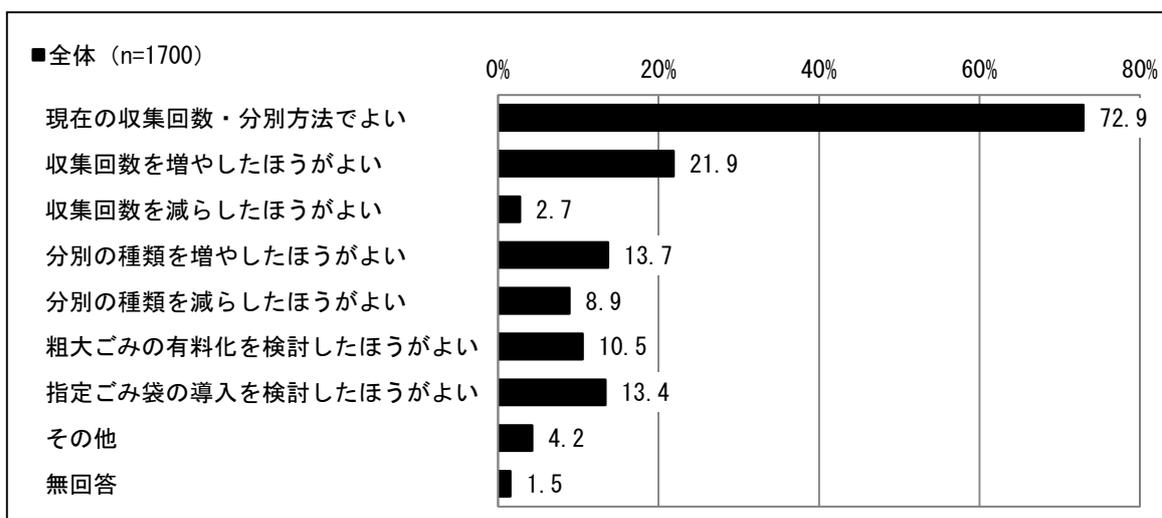
問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。
 (3) 市のごみ収集体制（収集回数や分別方法など）についてどのようにお考えですか。
 次の中から4つまで○を付けてください。【複数回答】

■「現在の収集回数・分別方法でよい」が他を大きく引き離して第1位。

ごみの収集回数については、「現在の収集回数・分別方法でよい」（72.9%）が他を大きく引き離して第1位となっており、多数の人が現状維持を望んでいることがうかがえる。次いで「収集回数を増やしたほうがよい」（21.9%）が続く。

性別、年齢別、居住年数別、居住地区別でみても、すべての層で「現在の収集回数・分別方法でよい」が最も多くなっている。また、居住年数別では、居住年数が短い人ほど「収集回数を増やしたほうがよい」と回答する人が多くなる傾向がみられた。さらに、居住地区別では、下忍、荒木で「収集回数を増やしたほうがよい」と回答する割合が比較的多い。

市のごみ収集体制（全体／複数回答）



市のごみ収集体制（全体、性別、年齢、居住年数、居住地区／複数回答）

（単位：％）

		n	現在の収集回数・分別方法でよい	収集回数を増やしたほうがよい	収集回数を減らしたほうがよい	分別の種類を増やしたほうがよい	分別の種類を減らしたほうがよい	粗大ごみの有料化を検討したほうがよい	指定ごみ袋の導入を検討したほうがよい	その他	無回答
全体		1700	72.9	21.9	2.7	13.7	8.9	10.5	13.4	4.2	1.5
性別	男性	791	72.6	22.5	2.4	14.4	11.1	11.8	15.4	5.1	1.3
	女性	892	73.4	21.3	3.0	13.0	7.0	9.3	11.4	3.5	1.7
年齢	20～29 歳	130	62.3	30.8	0.8	13.1	13.8	6.9	10.8	7.7	0.0
	30～39 歳	188	64.9	28.2	1.6	9.6	11.2	6.4	6.9	5.3	0.5
	40～49 歳	276	69.9	21.0	2.2	11.2	5.8	4.7	9.1	3.6	1.4
	50～59 歳	322	71.7	21.4	3.1	13.7	6.5	9.6	10.9	4.7	1.2
	60 歳以上	774	78.6	19.4	3.4	15.8	9.4	14.5	18.0	3.5	2.2
居住年数	5年未満	123	63.4	30.1	2.4	13.0	9.8	6.5	13.0	9.8	0.0
	5年以上 10 年未満	101	58.4	26.7	5.0	8.9	9.9	5.9	13.9	6.9	1.0
	10 年以上 15 年未満	101	73.3	25.7	0.0	7.9	8.9	7.9	6.9	5.0	1.0
	15 年以上 20 年未満	129	72.9	22.5	3.1	14.7	7.8	11.6	10.1	4.7	0.0
	20 年以上	1236	75.2	20.2	2.8	14.4	8.8	11.2	14.2	3.4	1.9
居住地区	忍	128	75.8	21.1	3.1	12.5	7.0	9.4	6.3	3.1	3.1
	行田	104	79.8	15.4	0.0	13.5	12.5	17.3	18.3	4.8	1.0
	佐間	120	80.0	15.8	2.5	12.5	8.3	8.3	16.7	4.2	1.7
	持田	271	75.6	18.8	3.7	11.8	5.5	7.7	12.2	4.4	0.7
	星河	164	76.8	17.1	4.3	10.4	11.0	10.4	15.9	4.9	1.2
	長野	199	73.4	20.6	3.0	12.6	9.0	9.0	11.6	3.0	1.5
	星宮	43	67.4	27.9	2.3	20.9	11.6	14.0	20.9	2.3	0.0
	下忍	35	68.6	37.1	0.0	5.7	11.4	2.9	5.7	2.9	0.0
	荒木	73	54.8	35.6	0.0	24.7	12.3	13.7	16.4	1.4	4.1
	須加	42	69.0	19.0	4.8	7.1	16.7	4.8	7.1	0.0	0.0
	北河原	26	46.2	30.8	0.0	23.1	7.7	11.5	19.2	7.7	3.8
	埼玉	100	71.0	30.0	4.0	17.0	13.0	10.0	21.0	9.0	1.0
	太田	139	77.7	20.1	0.7	13.7	5.8	12.2	12.2	4.3	2.2
	太井	163	70.6	21.5	4.3	12.9	8.0	9.2	10.4	5.5	1.2
南河原	63	65.1	31.7	1.6	27.0	3.2	20.6	11.1	3.2	1.6	

(5) 収集回数を増やしたほうがよいごみ

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

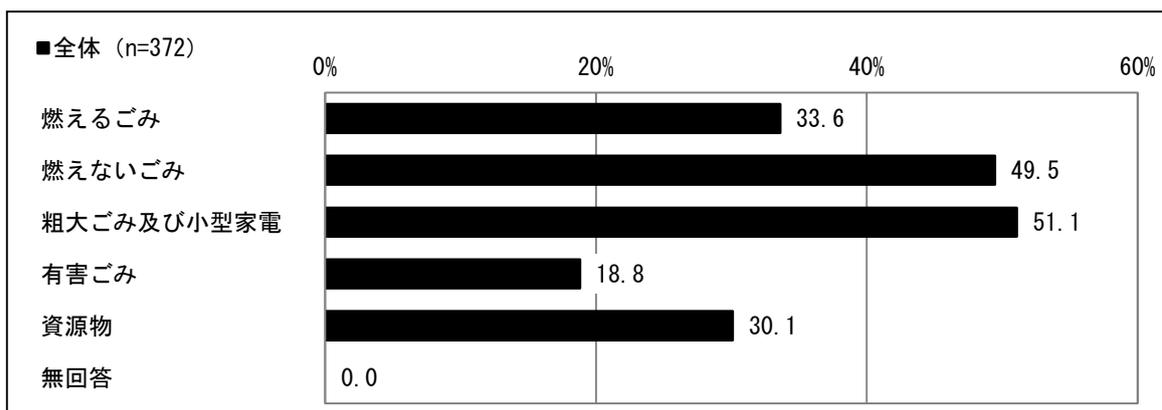
(4) 【(3)で「2. 収集回数を増やしたほうがよい」と答えた方にお尋ねします】収集回数を増やしたほうがよいごみの種類はなんですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

■収集回数を増やしたほうがよいごみは、「粗大ごみ及び小型家電」及び「燃えないごみ」。

ごみ収集回数を増やしたほうがよいと回答した人（372人）にその種類を尋ねたところ、「粗大ごみ及び小型家電」（51.1%）及び「燃えないごみ」（49.5%）が上位に挙げられている。

性別で見ると、男性では「粗大ごみ及び小型家電」（55.1%）が最も多く、女性では「燃えないごみ」（48.9%）が最も多くなっている。

収集回数を増やしたほうがよいごみ（全体／複数回答）



収集回数を増やしたほうがよいごみ（全体、性別／複数回答）

(単位: %)

		n	燃えるごみ	燃えないごみ	粗大ごみ及び小型家電	有害ごみ	資源物	無回答
全体		372	33.6	49.5	51.1	18.8	30.1	0.0
性別	男性	178	35.4	50.0	55.1	21.3	27.0	0.0
	女性	190	32.6	48.9	47.4	16.8	33.7	0.0

(6) 収集回数を減らしたほうがよいごみ

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

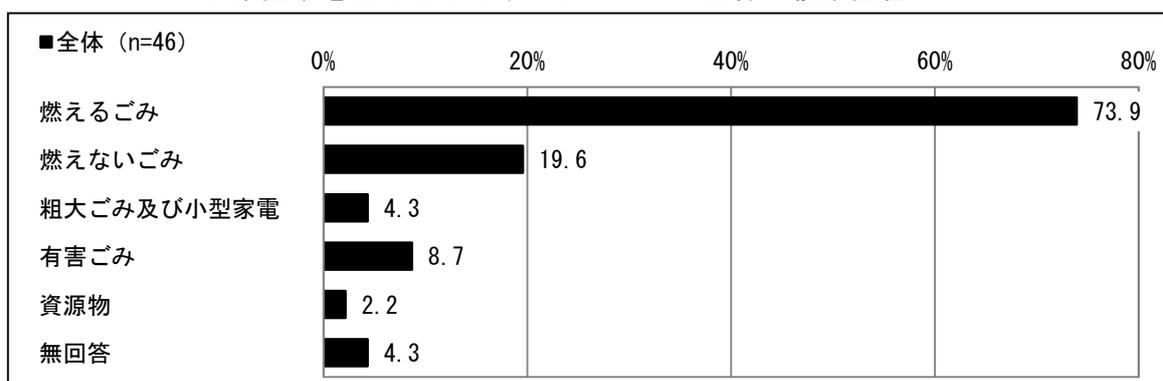
(5) 【(3)で「3. 収集回数を減らしたほうがよい」と答えた方にお尋ねします】収集回収を減らしたほうがよいごみの種類はなんですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

■収集回数を減らしたほうがよいごみは「燃えるごみ」。

ごみ収集回数を減らしたほうがよいと回答した人(46人)にその種類を尋ねたところ、「燃えるごみ」(73.9%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられている。

性別で見ると、男女ともに「燃えるごみ」が最も多い。

収集回数を減らしたほうがよいごみ(全体/複数回答)



収集回数を減らしたほうがよいごみ(全体、性別/複数回答)

(単位: %)

		n	燃えるごみ	燃えないごみ	粗大ごみ及び小型家電	有害ごみ	資源物	無回答
全体		46	73.9	19.6	4.3	8.7	2.2	4.3
性別	男性	19	63.2	15.8	5.3	15.8	0.0	10.5
	女性	27	81.5	22.2	3.7	3.7	3.7	0.0